

消費税の税率引き上げ反対を求める意見書

私たちの暮らしは、収入が落ち込み、医療、年金、介護などの負担が増えて苦しくなるばかりである。

消費税の導入時や税率引き上げの際には、社会保障財源などのためと言われてきたが、医療や年金などの社会保障は削られ、国の財政赤字は膨らみ続けている。社会保障財源を確保するには無駄遣いをやめ、税金の使い道を福祉と市民の暮らし優先に変えなければならない。

消費税が増税された場合、市民の消費は落ち込み、地域経済は一層悪化してしまうことが懸念される。

消費税は金持ちには負担が軽く、所得の低い人ほど重くなる逆進的な税金であり、増税が貧困と格差を一層加速させることは明らかである。市民の暮らしや家計を守るため、消費税の増税には反対である。

よって、国においては、消費税の税率引き上げを行わないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年12月19日

深谷市議会

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
総務大臣様
財務大臣様